

令和3年5月14日

## 会 議 結 果 [ 概要版 ]

1	会議の名称	第3回加東市社地域小中一貫校開校準備委員会 代表者会議
2	開催日時	令和3年5月13日(木) 19時30分から20時50分まで
3	開催場所	加東市社公民館 2階 研修室
4	協議事項と概要	<p>協議事項</p> <p>(1) 令和3年度開校準備委員会組織について</p> <p>(2) 社地域小中一貫校基本設計について</p> <p>(3) 開校時期について</p> <p>(4) 今後のスケジュールについて</p> <p>主な意見等 別紙のとおり</p>
5	傍聴者数	— (非公開) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
6	その他	<p>出席委員 7人 松井敏委員長、佐々木正利顧問、樹梨林三代表(施設整備委員会)、岸本吉博代表(学校運営委員会)、藤原路寛委員、橋本喜貴委員、平川真也委員</p> <p>事務局 10人 (藤本教育長、教育振興部: 田中部長 こども未来部: 広西部長、後藤参事、神田参事 学校教育課: 井上副課長 小中一貫教育推進室: 柴崎室長、丸山副課長、郡係長、 鞆係長</p> <p>※説明のため(株)大建設計から1名出席</p>

## 第3回加東市社地域小中一貫校開校準備委員会 代表者会議 協議結果〔概要版〕

## ■議事（1）令和3年度開校準備委員会組織について

事務局	《 資料1及び資料2をもとに説明 》 ・要綱上、原則として任期は「開校の日」までであるが、やむを得ない事情により交代があった委員5名について説明。加えて、小学校代表は4月の異動により3名交代。 ・副委員長不在のため、次回の開校準備委員会で互選にて決定。
委員長	開校準備委員会組織につきまして、ご意見やご質問はございませんか。
《 異議なし 》	

## ■議事（2）社地域小中一貫校基本設計について

## （3）開校時期について

事務局	《 資料3及び資料4をもとに説明 》 ・基本設計書（概要版）の説明。 ・開校時期を令和7年度とすることについての説明。 《 委員からの意見書に対する回答 》
委員長	それでは、基本設計と開校の時期について、何かございませんか。
委員	授業をやりながらの工事なので、防音や飛散防止を確実にやること、振動にも気を付け、生徒の学習の邪魔にならないような対策をしてほしい。
委員	意見書に対して前向きな回答をいただいた。可能な限り実現していただきたい。1年開校が延期になることについては、中学生の学習環境確保、安全性という説明について納得した。一番大事な点が配慮されていると感じた。今回のコンセプトである「安全・安心な学校」、「ゆとりのある学校」、「地域に愛される学校」に基づいた設計であり、その結果1年延びることについては、納得している。
委員	新しいものを生み出すプラスの部分が前面に出ていく取り組みであってほしい。工事を急ぐあまり、子どもたちの学習環境や安全面が脅かされることにならないことが一番ありがたい。今の子どもたちに通常の学びが保障されるような工程を組んでいただきたい。そういった配慮から、開校を延ばすという選択をしていただいていることはありがたい。
委員	意見書の9番にあるように、子どもは予期しない行動をとると思う。ならば、安全教育で教育しても、無視していろんな行動をとる。事故が起こらないような仕組みづくり、ハード面の強化をぜひお願いしたい。それと、バスロータリーが南北2か所にあるが、なぜ南側に統一できないのか。
事務局	教職員との協議でも、登校時に、一気に北側に動線が集中するのはやめてほ

	しいという意見や、下校時は、引率の動線を校舎から近いところにしてほしいという意見があり、このような計画となりました。
委員	子どもたちの安全は非常に大切だと思う。帰りについては、バスのところまで教師が引率することになると思う。子ども的人数も多いので、バスはピストンで運行することになり、教師は、またすぐに戻って次の子どもたちを引率することになる。少しでも近いところが教師が行き来しやすく、子どもの安全面を確保できるという利点がある。
委員	下校時、子どもが乗ってからでないとバスは動かないという説明が前回あった。また、1度に乗られない子が、バスの発着する場所で待つということではないという説明だったと思うが。
事務局	まずは集合場所で集まって、帰る方面ごとにバスに乗ってから出発をするという運用方法になるかと思います。
委員	いろんな方面へ行くバスがあるから、子どもたちがウロウロしていたら怖いなあという思いがある。現場の先生方が、2か所ロータリーがある方が良いと言っているのであれば、それで良いが、その場合でもハード面で車の方に近づけない構造にしてほしい。
委員	いろんな方面行きのバス、全てに子どもたちが乗ったのを確認してからでないとバスは動かないという話ではなかったか。
事務局	今、想定しているのは、そのような運用方法です。
事務局	今言っているように、全ての子どもたちが乗ったのを確認してからバスは動き始めます。乗ったバスから動くということではありません。バスが動いているところに子どもたちが入るような状況はあり得ないようにします。
委員	昨年の夏に熱中症対策でスクールバスの運行があったが、必ず地区ごとに集合して人数を確認してから一緒に移動し、乗るときに再度、教師が確認をしていった。子どもがバスのすぐ横で集まるということにはなかった。
委員	一昨年度、学校運営委員会でバスの協議をしたが、今一度、その際の資料を皆さんに配布してほしい。内容について共通に理解があったほうが良い。
事務局	令和元年度、スクールバスの運行について協議をした際の資料を、再度配布させていただきます。
委員長	開校時期が1年延期するという大きな話があったが、先生方からも、子どもたちの安全を考えると、開校を遅らせることも納得という意見があった。1年延長ということについて、代表者会議としては了承ということで良いか。
《 異議なし 》	
委員長	意見書については、事務局から、また回答していただけますか。
事務局	説明した分をお送りします。

委員長	ほかございませんか。
委員	1年延長ということについて、どのように周知していくか教えてほしい。6年度開校に向けて、様々な準備や説明もしてきたところだ。事務局として今後、どのように周知していくのか。
事務局	5月29日に市民報告会を開催予定でしたが、新型コロナの影響で中止としました。まずは、18日の総務文教常任委員会で、同じ報告をします。その後になりますが、ケーブルテレビやホームページ、広報を通じて説明をしていきます。
事務局	総務文教常任委員会の翌日に、内容について新聞報道される可能性があります。
委員長	まずは、新聞報道されるまでに、各委員に今日の結果をお知らせしてほしい。
事務局	すぐに発送させていただきます。

■議事（４）今後のスケジュールについて

事務局	《 資料5をもとに説明 》 ・令和3年度に徒歩の通学路、愛称についての協議を予定。
事務局	開校時期が1年延びるということについては、5月の定例教育委員会に報告をして、決定となることをご理解いただきたい。
委員長	今後のスケジュールについて、何か意見はございませんか。
《 異議なし 》	